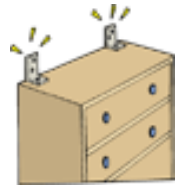


# 家具類の転倒・落下を防止しましょう！

## なぜ、家具類の転倒・落下防止は必要なの？

震災での、死者の約9割は住宅の倒壊や、家具の転倒でなくなられています。家具や大型電化製品などは地震発生時に凶器になります。地震から身を守るため、転倒の危険があるものは、できるだけ転倒防止の固定をしましょう。



### 1 まずは安全空間の確保！

家具の置き場所や置き方を見直し、室内の安全空間を確保しましょう！

#### <チェックポイント> 部屋の中をチェック！

- 寝室・幼児・高齢者のいる部屋には家具を置いていないか。
- 部屋の出入口付近や廊下階段などに家具類を置いていないか。
- 地震時の出火を防ぐため火気の周辺に家具を置いていないか。
- 家具の上にガラス製品やテレビなど落下すると危険なものを置いていないか。
- 重いものを下のほうに収納し、倒れにくくしてあるか。
- 前のめりより、後ろもたれ気味に家具を置いているか。

### 2 転倒防止器具で固定する！

適切な転倒防止器具を選んで、正しく取り付けましょう。器具は家具専門店やホームセンターなどで販売されています。

## <設置のポイント>

### □ 部屋に固定する

L字金具やベルト、突っ張り棒で、壁・柱・横木・天井などと家具を固定するタイプがあります。家具の転倒防止器具を取り付けて家具を固定するためには、設置場所と家具の両方に十分な強度が必要ですので、家具や部屋の状況をよく確認して取り付けましょう。

### □ 家具と家具を固定する

上下に積み重ねて使う家具は、上部の家具を壁や柱に固定しても、下部の家具が地震で揺れると、前にせり出して転倒する危険があります。重ねた家具の側面を金具で連結し、さらに上部の家具を壁等に固定しましょう。

### □ 家具の重心を下げる

重いものを下に収納することで、家具を倒れにくくすることができます。例えば、食器棚では陶器やガラスでできた重いもの、本棚では事典などの重い本を下段に収納すると、家具全体の重心が下がり倒れにくくなります。また、重いものが高い位置から落ちてくる危険性も避けられます。

## 3 こんなところも忘れずに！

家の中を見回すと、地震の際に危険なのは家具だけではなくありません。下の図を参考に、対策をしましょう。

